

(様式1)

平成30年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県花総合センター 農産食品課

2 施設所在地
砺波市高道46番3

3 施設設置年度
昭和62 年度

4 設置目的
県民に花の栽培技術及び活用方法その他花に関する情報を総合的に提供し、もって県内における花の生産の拡大と県民の花に親しむ意識の高揚を図る。

5 施設概要
主な施設
・本館：鉄筋コンクリート2階建 775.4㎡
・展示温室：鉄骨造2階建 501.41㎡
・作業管理棟：鉄骨造平屋建 236.03㎡
・栽培温室：鉄骨造平屋建（4棟） 453.6㎡
・モデル化花壇 10面 1,031㎡

6 指定管理者
公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団

7 指定期間
5 年
平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

H26	H27	H28	H29	H30
89,750	90,685	91,340	96,900	100,700

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H26	H27	H28	H29	H30
694	701	506	785	1,109

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H26	H27	H28	H29	H30
-	-	-	-	-

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・報道関係者への積極的な情報発信によって新聞・テレビ等への露出が増えたことで、県民はもとより砺波市民の当センターの認知度が高まったことにより、昨年度と比較して約4%の入園者増加となった。
・29年度と比較して外部団体による園内視察、研修依頼等による施設利用がなかったため、使用料収入は減少、一方でビオラ等花壇苗やスイセンなどの生産物売払収入が増加。増加分が減少分を上回ったため、前年度より収入は増加した。

(2) サービス向上に向けた取組み

・「プロから学ぶ」と冠したオープン講座(年5回)を実施。
・花まつり期間に、生産者による花苗の販売と寄せ植え体験等を実施し、栽培のコツを直接指導するなど生産者と消費者の交流の場を設けた。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・本館展示ホールにて、チューリップフェアの期間に合わせた特別展示や花まつりのほか、季節ごとのテーマを設け、1年間に9回の展示を実施した。
・年間の催し物案内と花ごよみを記載したパンフレットを作成し、花まつりや季節展示について各機関を通して広くPRするとともにHPやブログ等で随時見ごろの花やイベントの告知を行った。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年 実施方法：本館1階ホールにアンケートコーナーを設置し、記載者に花の種等プレゼントを準備。
回答者数	258人
結果	「良かった」が209件、「まあ良かった」が38件と全体の約95%以上を占めた。
結果を踏まえた改善事項	市との連携を継続し、生産者と消費者との結びつける架け橋的役割を引き続き担うとともに来園者の憩いや癒の場となるよう、園内の整備に今後とも努める。

② その他利用者の声を反映させる取組み

ホームページの問い合わせメール

③ 主な苦情と対応

無し

(5) 個人情報保護の取組み

講座の受講者等の個人情報は厳重に管理している。

(6) 関係団体との連携

・「砺波チューリップ公園」、「チューリップ四季彩館」や「砺波市美術館」、「砺波市観光協会」、「道の駅砺波」等と連携し、パンフレット設置について協力を得たほか、「園内ぐるり会」での情報交換を実施。
・「チューリップ四季彩館」と、チューリップフェア共催企画として「びっくり水族館～多肉植物でつくる海の生き物～」と題した特別展示を行った。
・各種イベント等には、地元の保育所や幼稚園園児を招待して地域住民との交流を図った。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

警備保障会社への再委託により防犯、火災、設備監視等を適切に実施している。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	2
無	-
無	-

【トラブルの具体的内容と対応】

無し

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

県広報・砺波市広報・ホームページ・FMとなみ等でのPRやマスメディアでのPRによる効果が上がっており、引き続き実施していただきたい。
複数回来園される方が増加する一方、新規来園者の比率が減少傾向にあるため、新規来園者が増加するよう、引き続き企画展示や園内の整備に努めていただきたい。